

令和6年度国立山口徳地青少年自然の家教育事業

徳地アドベンチャー教育プログラム（TAP）研修会

第1回：令和6年6月15日（土）～6月16日（日）
第2回：令和6年11月30日（土）～12月1日（日）

【目的】

徳地アドベンチャー教育プログラム（以下「TAP」）の体験を通して、その教育効果を体感するとともに、理念や手法について理解する機会を提供することで、参加者の指導能力の向上に資する。

【参加者】第1回：14名、第2回：18名

【プログラムの内容】

1日目 開講式、セッション①「アイスブレイク等」、セッション②「ローエレメント等」、セッション③「イニシアティブ等」
2日目 セッション④「ハイレLEMENT等」、セッション⑤「イニシアティブ」「TAPの理論」

セッション①



お互いを知り合ったり、緊張をほぐしたりするアイスブレイク

セッション②③



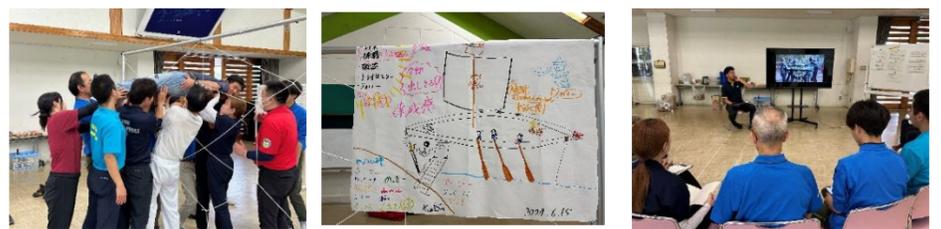
グループでのコミュニケーションや意思決定を必要とするイニシアティブやローエレメント、活動のふりかえり

セッション④



個人やグループでチャレンジの方法を選択したハイレLEMENT

セッション⑤



最終イニシアティブとふりかえり

理論に関する講義

【参加者の声】

- ・TAPの効果をもっと体感することができた。また、情報交換会などで、指導や理論、考え方などを共有・相談することができ、非常に大きな学びになった。また、今後の研修に参加し、TAPの外部指導員になりたいと強く思った。
- ・ハイレLEMENTを体験できてよかった。また、見ず知らずの人とハイレLEMENTを行うことについて、本来であれば命を預けることもあり難しいと思うが、先にアイスブレイクやローエレメントを行うことで信頼感を築くことができ、これらがとても重要な活動だと感じた。
- ・体験しながら学ぶことが出来たので、最後の講習は内容が理解しやすかった。
- ・TAPがどういうものなのか、研修に参加して初めて知りましたし、ワクワクしました。宿泊学習で来る子どもたちもきっとそうだと思います。研修の中で、チームとしての信頼を築くのは体験と、気持ちを発言する場づくりが大切なのだと気付かされました。アドベンチャープログラムを施設で運用できないかや、イニシアティブの技術を施設に持ち帰り展開したいと思います。

【成果】

- ・TAPの効果を感じることができたという感想が多くみられ、体験と理論のバランスについても好評であったことから、内容は十分だったと考えられる。
- ・研修会での体験を自身のフィールドで実践したいという感想や、TAPの指導法について学びたいという感想が多くみられたことから、参加者の指導能力の向上や指導者養成講習会への発展に期待できる。

【課題】

- ・山口県内からの参加者が少なく、外部指導員の確保につながりづらい状況である。山口県内の青少年教育担当部局や青少年教育施設、学校に対して積極的に広報を行うなど、連携を強化していきたい。